

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月7日

上場会社名 酒井重工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6358 URL http://www.sakainet.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 吉川 孝郎 TEL 03-3434-3401
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,135	12.3	685	79.4	705	100.8	385	222.2
27年3月期第1四半期	5,466	△1.0	382	△8.9	351	△21.3	119	△68.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 520百万円 (94.9%) 27年3月期第1四半期 266百万円 (△51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	9.10	—
27年3月期第1四半期	2.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	35,426	18,674	52.6	439.84
27年3月期	35,991	18,303	50.8	431.08

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 18,647百万円 27年3月期 18,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	4.4	1,100	13.3	1,080	14.3	620	15.7	14.62
通期	25,700	△1.0	1,850	△4.9	1,650	△14.7	1,100	△13.0	25.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成27年8月7日）公表致しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期1Q	42,620,172株	27年3月期	42,620,172株
28年3月期1Q	224,913株	27年3月期	223,393株
28年3月期1Q	42,395,799株	27年3月期1Q	42,403,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結地域区分別売上高表

区 分	当第1四半期連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日		前第1四半期連結累計期間 自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
国 内	3,069	50.0	2,237	40.9	831	37.2
海 外	3,066	50.0	3,228	59.1	△161	△5.0
北 米	1,240	20.2	1,387	25.4	△146	△10.6
アジア	1,474	24.0	1,446	26.5	28	1.9
中近東・ロシアCIS	100	1.7	133	2.4	△33	△24.8
その他	251	4.1	261	4.8	△10	△3.9
合 計	6,135	100.0	5,466	100.0	669	12.3

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年6月30日）における当企業グループの事業環境は、堅調な日米先進国と調整局面を迎えつつある新興国という世界経済の潮流の中で、中国の経済減速鮮明化や資源価格の大幅下落、新興国からの資金流出などの影響を受け、一進一退の状況に推移致しました。

このような情勢の下で当企業グループでは、国内及び北米向けの製品供給に注力する一方、中長期成長戦略である海外市場開拓、北米事業の収益構造改革、経営基盤強化など、将来成長に向けた種蒔きを積極的に進めて参りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外販売の減少を国内販売の増加でカバーし、前年同期比12.3%増の61億3千万円とすることが出来ました。

利益面につきましては、営業利益は収益構造改善に加えて円安等の好条件が重なり、前年同期比79.4%増の6億8千万円、経常利益は同2.0倍の7億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同3.2倍の3億8千万円となりました。

連結地域区分別売上高状況につきましては、次のとおりであります。

国内向け売上高は、公共投資の発注に減速が見られましたものの、本年9月の中型ローラ排ガス規制に伴う駆け込み需要効果により、前年同期比37.2%増の30億6千万円となりました。

海外向け売上高は、海外販売拡大に向けて営業活動を積極的に進めましたものの、前年同期比5.0%減の30億6千万円に留まりました。

北米向け売上高につきましては、住宅建設投資が活発化しているものの、道路特定財源の議会承認の遅れにより道路建設投資が減速し、前年同期比10.6%減の12億4千万円となりました。

アジア向け売上高は、主力のインドネシアで販売が減少しましたものの、メコン周辺諸国で販売拡大を図りました結果、前年同期比1.9%増の14億7千万円となりました。

中近東・ロシアC I S向け売上高は、ロシア向け販売が停滞する中、中近東向け販売に注力しましたものの、前年同期比24.8%減の1億円に留まりました。

その他市場向け売上高は、資源価格下落の影響で豪州向け販売が減速しましたものの、アフリカ及び中南米での販売を拡大させました結果、前年同期比3.9%減の2億5千万円に留まりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

		当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増 減	
				金 額	増減率
日 本	総売上高	百万円 4,940	百万円 4,177	百万円 763	% 18.3
	営業利益	422	238	183	77.2
米 国	総売上高	1,256	1,416	△160	△11.3
	営業利益	94	27	66	244.6
インドネシア	総売上高	1,328	1,266	62	4.9
	営業利益	106	140	△33	△24.0
中 国	総売上高	679	315	364	115.3
	営業利益	54	△5	60	—
調 整 額	総売上高	△2,069	△1,710	△359	—
	営業利益	7	△18	25	—
連 結	総売上高	6,135	5,466	669	12.3
	営業利益	685	382	303	79.4

日本

排ガス規制駆け込み需要によって総売上高が前年同期比18.3%増の49億4千万円となりました結果、営業利益は同77.2%増の4億2千万円となりました。

海外

米国では、総売上高が前年同期比11.3%減の12億5千万円に減少しましたものの、収益構造改善を進めました結果、営業利益は同3.4倍の9千万円となりました。

インドネシアでは、国内販売の減少を第三国向け輸出及びグループ工場向け部品輸出でカバーし、総売上高を前年同期比4.9%増の13億2千万円としましたが、営業利益は同24.0%減の1億円に留まりました。

中国では、国内販売の底這い基調が続く中、北米向け輸出を拡大しました結果、総売上高は前年同期比2.1倍の6億7千万円、営業利益は黒字転換して5千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ5億6千万円減少し、354億2千万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が9億9千万円増加、たな卸資産が4億7千万円増加し、受取手形及び売掛金が20億8千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ7億円減少し、255億2千万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券が1億9千万円増加し、有形固定資産が7千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億3千万円増加し、99億円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が3億7千万円減少、未払費用等の減少に伴い流動負債のその他が4億5千万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ9億5千万円減少し、148億4千万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債等の増加に伴い固定負債のその他が1千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1千万円増加し、19億円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が2億3千万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億3千万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億7千万円増加し、186億7千万円となりました。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加し、52.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表しました業績予想を次のとおり修正致しました。

平成28年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	12,700	900	830	550	12.97
今回修正予想	12,700	1,100	1,080	620	14.62
増減額	—	200	250	70	

今後につきましては、国内では国土強靱化や東京オリンピックなど底堅い工事需要が期待されますが、本年9月の中型ローラ排ガス規制をピークとして特需の峠を越えるものと予想されます。海外では北米市場が比較的堅調に推移するものの、新興国においては中国経済情勢やF R B金融政策の影響を受けやすい不安定な市場環境が続くものと予想されます。

このような事業環境見通しの下で当企業グループでは、中長期の持続的成長軌道を確保すべく、海外市場開拓投資、北米事業強化、次世代製品研究開発、設備投資など、将来成長に向けた種蒔きを積極的に進めると共に、世界の経済激動を耐え抜ける経営基盤づくりを進めて参ります。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,408,438	5,400,184
受取手形及び売掛金	11,273,234	9,187,476
商品及び製品	4,140,535	4,519,260
仕掛品	1,916,002	1,586,534
原材料及び貯蔵品	3,687,508	4,113,467
その他	802,234	717,955
貸倒引当金	△1,120	△948
流動資産合計	26,226,833	25,523,932
固定資産		
有形固定資産	4,909,874	4,832,493
無形固定資産	247,204	244,093
投資その他の資産		
投資有価証券	3,405,764	3,597,704
その他	1,201,842	1,227,954
投資その他の資産合計	4,607,606	4,825,659
固定資産合計	9,764,684	9,902,245
資産合計	35,991,518	35,426,177
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,780,982	6,407,812
短期借入金	6,844,772	6,891,885
未払法人税等	520,841	356,256
引当金	86,682	82,370
その他	1,569,795	1,111,333
流動負債合計	15,803,074	14,849,658
固定負債		
長期借入金	745,247	747,765
退職給付に係る負債	85,431	86,014
その他	1,054,438	1,067,952
固定負債合計	1,885,118	1,901,732
負債合計	17,688,192	16,751,390

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,115,199	3,115,199
資本剰余金	6,361,142	6,361,142
利益剰余金	6,842,676	7,080,226
自己株式	△52,840	△53,278
株主資本合計	16,266,177	16,503,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,483,301	1,619,511
為替換算調整勘定	532,132	529,098
退職給付に係る調整累計額	△5,041	△4,768
その他の包括利益累計額合計	2,010,391	2,143,841
非支配株主持分	26,757	27,655
純資産合計	18,303,326	18,674,786
負債純資産合計	35,991,518	35,426,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,466,039	6,135,975
売上原価	4,053,866	4,318,119
売上総利益	1,412,172	1,817,856
販売費及び一般管理費		
運搬費	94,809	102,638
給料及び賞与	434,031	463,285
技術研究費	197,781	189,208
その他	303,412	377,202
販売費及び一般管理費合計	1,030,035	1,132,334
営業利益	382,137	685,521
営業外収益		
受取利息	903	675
受取配当金	41,691	46,802
その他	11,040	23,735
営業外収益合計	53,635	71,214
営業外費用		
支払利息	31,489	34,130
その他	53,102	17,550
営業外費用合計	84,592	51,680
経常利益	351,179	705,054
特別利益		
固定資産売却益	735	370
特別利益合計	735	370
特別損失		
固定資産処分損	7,673	58
特別損失合計	7,673	58
税金等調整前四半期純利益	344,241	705,366
法人税等	223,539	318,450
四半期純利益	120,701	386,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	907	976
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,793	385,938

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	120,701	386,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	195,521	136,209
為替換算調整勘定	△49,285	△3,112
退職給付に係る調整額	53	273
その他の包括利益合計	146,289	133,371
四半期包括利益	266,991	520,287
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,595	519,388
非支配株主に係る四半期包括利益	395	898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。